

中学校生活最後の運動会

最後の運動会は、真夏を思わせる快晴の空のもとで行われました。みなさん一人一人が輝いていて、みなさんの思いが伝わってきた運動会となりました。

運動会実行委員はじめ、委員会や係で仕事をした人たち、それに、一人一人の運動会を成功させたいという思いが結集された素晴らしい運動会でした。

9 年生は、練習の段階から全体的には今まで以上のしっかりした態度で取り組み、最上級生としての責任をいろいろな場面でしっかり果たすことができたように思います。1 つ 1 つの競技で、9 年生の活躍が見られましたが、圧巻はオールメンバーズリレーでした。どのクラスも全力投球し、最後まで諦めず力を出し切った姿は素晴らしかったです。そして、組ダンス。バイブスマックスでお互いを盛り上げながら、素晴らしい笑顔で踊っている姿はとても素敵でした。

運動が苦手な運動会はあまり好きではないという人がいます。しかし、運動会は運動が得意な人が活躍するためにあるものではありません。運動会を開催するまでの準備、いろいろな競技をする中で自分の役割を見つけ、その責任を果たすこと、仲間と励まし合い協力すること、そこから大きなものを得られることができます。運動会後のみなさんの笑顔がそれを物語っています。この笑顔がさらに広がっていけるように、この運動会を活かしてこれからの生活をしていきましょう。

また、運動会がスムーズに実施できた陰には、実行委員を始め多くの人の努力があります。自分のことだけでなく、運営、準備、その他に当たってくれた人がいます。その人たちの努力に報いるためにも、この運動会で得られたことを、これからの学校生活に活かしてほしいと思います。多くの人の努力で、運動会スローガン「燃やせ、五色の炎！東京一の運動会」に近づくことはできたのではないのでしょうか。

9 年生、1 つの行事が終わる度、卒業の日が近づいてきます。この運動会の大成功を胸に 1 日 1 日を大切に過ごしたいものですね。

運動会の成功のために自分の役割を果たそうと努力をした運動会実行委員のみなさん本当にお疲れ様でした！！

選手宣誓

ソロチャレンジ走

勝っておごらず、負けて腐らず・・・

言うまでもなく、運動会は競技会という側面ももつものです。そのため、そこには勝者と敗者という図式がどうしても生まれてしまいます。勝てば嬉しいし、負ければ悔しい。あるいは気を落とす。それは自然なことです。そういう気分は無理に打ち消す必要はありません。でも、それと共に忘れてはならないこともあります。お互いの健闘をたたえ合う気持ちです。仲間とクラスメイトとお互いの健闘をたたえ合うことはできたでしょうか。

それから、個人として本当にこの行事に力を尽くしたかどうか、自らを振り返ってみることも必要です。行進やビートイットラジオ体操や係活動、運動会に至る準備日程を含めて、本当に力を出し切れたのだろうか。運動の好き嫌い、得意不得意、勝った負けたは別にして、どれほど自らがもてる力を素直に注げたか。中学校生活最後の運動会についての自己評価のポイントは、ひょっとしたらその一点に尽きるのではないのでしょうか。勝ち負けやら順位やらの結果、好き嫌いの感情にこだわると、この大切な一点をつい見逃してしまいます。あるいは、それらを隠れ蓑にして自ら現実の自分に目を背けてしまいます。そんなことになりがちです。

勝っておごらず負けて腐らず、冷静に自己を振り返って、自分の充実度を測ってみましょう。そのようなことができてはじめて、この行事の経験が日常に活かされ、また、次の機会につながります。

チャレンジ投

ペアチャレンジ走

9年生最初の定期考査

1学期期末考査まで1週間をきりました。今までのように「次はがんばる」と言ってはいられませんから、それぞれが真剣に学習に取り組んでいることでしょう。

学校では、2週間前から範囲表、計画表を配布し、テストに向けて取り組みを開始しました。しかし、なかなか計画を立てることができない人もいます。計画的に取り組まないと、試験範囲をくまなくやれなかったり、不得意なものを後回しにしてしまいがちです。残りの数日を計画的に学習できるように計画を立ててみましょう。そして、最後まであきらめしないで、学習にとりくみましょう。ただし、あまり夜遅くまで勉強してりして、体調を崩さないように。なるべく早い時間に取りかかり、睡眠は確保しましょう。